今日のトピック 最近の指標から見る欧州経済（2015年8月）

企業景況感は高水準を維持し、景気回復持続へ

ポイント1 景気の緩やかな回復持続

企業景況感は高水準維持

■4-6月期のGDP成長率は前期比＋0.3%に鈍化しました。6月の生産や小売は前月比低下し、生産活動や消費の勢いは、若干ながら低下しました。一方、4-6月期のユーロ圏の貿易収支黒字額は、ユーロ安などにより前期比8%程度増加し、景気回復を支えました。

■8月の製造業やサービス業のPMI（購買担当者景況感指数）は高水準を維持しています。ギリシャ情勢の不透明感後退もあり、ドイツの代表的な企業景況感指数であるIfo総合指数も改善しました。

ポイント2 物価は低位での推移

ECBは金融緩和でサポート継続

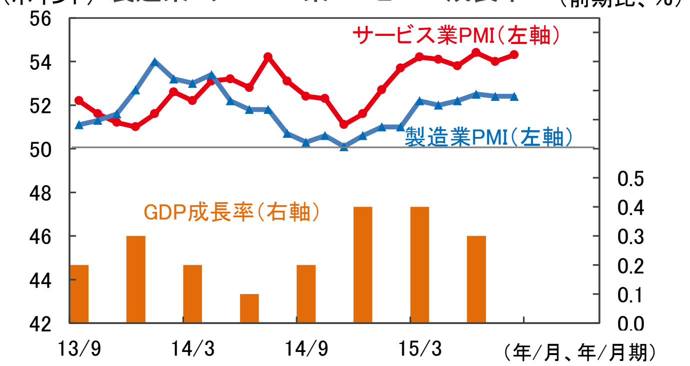
■7月の消費者物価指数は前年同月比＋0.2%と、低位で推移しています。原油安で物価上昇圧力が和らいでいると見られます。

■欧州中央銀行（ECB）による強力な金融緩和が景気や物価の回復をサポートしています。ECBは、2%近くとする物価目標の達成が見通せるまで、月600億ユーロの国債などの購入を継続する方針で、必要に応じて拡充も期待されます。

今後の展開 追加金融緩和や投資推進策によるサポートが期待される

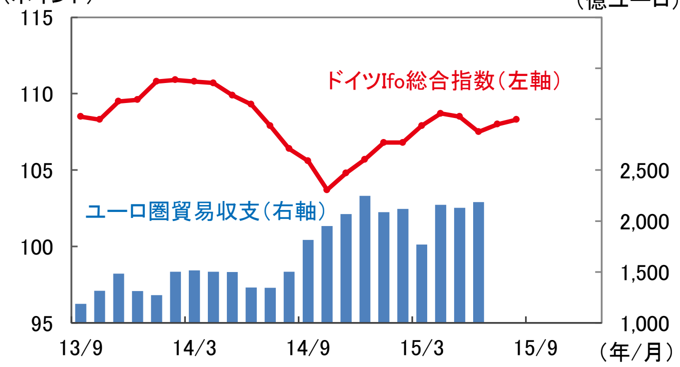
■ユーロ圏は輸出が主導する緩やかな回復が見込まれるものの、その勢いはやや鈍化しそうです。ギリシャ情勢が落ち着いたことは好材料ですが、中国や新興国などの経済が、原油や資源価格下落の影響などで下振れる可能性が高まり、輸出の勢いが鈍化しそうです。欧州連合（EU）が主導する新産業育成などの投資促進策やECBの追加緩和による、一層のサポートが期待されます。

製造業・サービス業PMIとGDP成長率



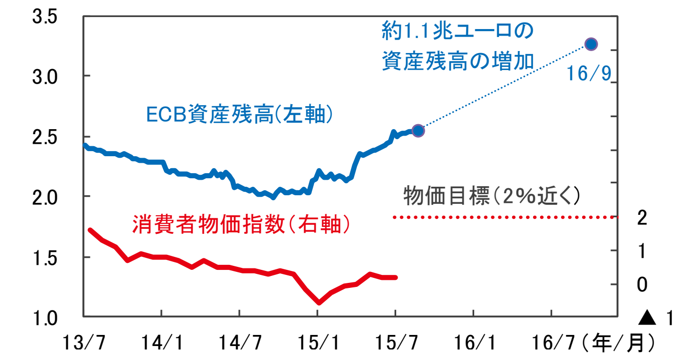
（注）PMIは2013年9月～2015年8月。
GDP成長率は2013年7-9月期～2015年4-6月期（四半期）。
（出所）Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ドイツIfo総合指数とユーロ圏貿易収支



（注）データは2013年9月～2015年8月（貿易収支は6月まで）。
（出所）Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

消費者物価指数とECB資産残高



（注）ECB資産残高は2013年7月5日～2015年8月21日（週次）。消費者物価指数は2013年7月～2015年7月（月次）。2016年9月のECB資産残高は2015年3月以降月600億ユーロの資産購入が19カ月継続する前提で試算。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック！
2015年08月24日 ギリシャへの「第3次金融支援」実行（欧州）
2015年07月17日 ECBは現行政策を維持、ギリシャ支援を拡充

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。